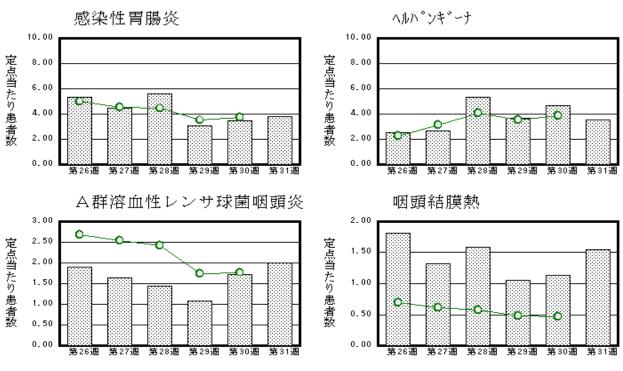
〈週報〉第31週(平成28年8月1日~8月7日) 〈月報〉 7月(平成28年7月1日~7月31日) 発行日: 平成28年8月10日

発 行: 福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 1. 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎83名(3.77名)②ヘルパンギーナ78名(3.55名)③A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎44名(2.00名)④咽頭結膜熱34名(1.55名)⑤マイコプラズマ肺炎7名(1.17名)()内は定点当たり人数
- 2. 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(83名)②ヘルパンギーナ(78名)③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(44名)④咽頭結膜熱(34名)⑤流行性耳下腺炎(14名)
- 3. 【感染性胃腸炎】報告数は83名です。定点当たり報告数は増加しました(3.50名→3.77名)。地域別にみると、福井地区5.29名、丹南地区4.60名、二州地区4.00名、坂井地区3.00名、奥越地区0.50名、若狭地区0.50名の順となっています。
- 4. 【ヘルパンギーナ】報告数は78名です。定点当たりの報告数は減少しました(4.68名→3.55名)。地域別にみると、坂井地区7.67名、奥越地区5.00名、福井地区3.43名、丹南地区2.80名、若狭地区1.50名、二州地区1.33名の順となっています。
- 5.【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は44名です。定点当たり報告数は増加しました(1.73名→2.00名)。地域別にみると、奥越地区6.50名、福井地区2.29名、二州地区1.33名、丹南地区1.20名、坂井地区1.00名、若狭地区1.00名の順となっています。
- 6. 【咽頭結膜熱】報告数は34名です。定点当たり報告数は増加しました(1.14名→1.55名)。地域別にみると、奥越地区5.50名、二州地区3.00名、丹南地区1.60名、福井地区0.86名の順となっています。



- ※棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
- ◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2016年第29週号(7月18日~7月24日)要点

発生動向総覧	<第29週>流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	◆病原体情報<速報記事>小児科定点疾患としてのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の動向(2011年~2016年第21週)(7/29更新) ◆海外感染症情報 ジカウイルス感染症の発生状況(更新24)/アフリカでの流行に伴う一時的な黄熱予防接種の要求/ 中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)の発生(更新22)/黄熱の発生状況(更新12)/鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況(更新9)
速報	<今週は該当記事はありません>

◆全数届出の感染症(福井県)

1類感染症:報告はありませんでした。

2類感染症:結核2名の報告がありました。

(なお、結核は第30週に1名の報告がありました。)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症1名の報告がありました(下表参照)。

4類感染症:レジオネラ症1名の報告がありました。

5類感染症全数把握対象:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2名の報告がありました。

疾病名		腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)								
患者		男児 1名								
血清型		O157								
主な症状	犬	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱 溶血性貧血、溶血性尿毒症症候群(HUS)※ただし腎障害はなし								
感染原	因·感染経路	調査中								
平成28年	福井県	有症者 8名、無症者 3名								
十月太20千	全国	1,165名(7月24日現在)								
平成27年	同時期届出累計	有症者 7名、無症者 3名、全国 1,451名								

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告: 五類感染症(週報分)] 平成28年 第31週 平成28年8月1日(月)~平成28年8月7日(日)

	口,业规心未止	(XIII TIX	. / 3 / 1		/4/01	<u> </u>	31017	<u> </u>		1 /4/	10 1	0/1	гн ()	1/	1 1922	, , 0,,	, , ,	(- /	
定点種別 (定点数)	保健所 病名	福	井	坂	井	奥	L越	丹	·南	_	.州	若	狭	言	+	前	週	全国(3	30週)
インフル エンサ゛ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ を除く)																	92	0. 02
	※ 1 RSウイルス 感染症															1	0.05	835	0. 26
	咽頭結膜熱	6	0.86			11	5. 50	8	1.60	9	3. 00			34	1. 55	25	1. 14	1479	0.47
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	16	2. 29	3	1.00	13	6. 50	6	1. 20	4	1. 33	2	1.00	44	2. 00	38	1. 73	5581	1. 77
	感染性胃腸炎	37	5. 29	9	3.00	1	0.50	23	4. 60	12	4.00	1	0.50	83	3. 77	77	3. 50	11793	3. 73
小児科	水痘	1	0.14			1	0.50	1	0. 20					3	0. 14	7	0. 32	983	0. 31
	手足口病											1	0.50	1	0.05	8	0.36	2246	0.71
(22)	伝染性紅斑	3	0. 43					3	0.60					6	0. 27	3	0. 14	889	0. 28
	突発性発しん	4	0. 57					1	0. 20	2	0. 67			7	0. 32	12	0. 55	1675	0.53
	百日咳											1	0.50	1	0.05	1	0.05	90	0.03
	ヘルパンギー ナ	24	3. 43	23	7. 67	10	5. 00	14	2.80	4	1. 33	3	1. 50	78	3. 55	103	4. 68	12157	3. 85
	流行性耳下腺 炎	3	0. 43			4	2.00	7	1.40					14	0.64	18	0.82	4128	1. 31
眼科	急性出血性結膜 炎																	6	0.01
(3)	流行性角結膜 炎			*			*			;	*	;	*					582	0. 84
	細菌性髄膜炎																	10	0. 02
	無菌性髄膜炎																	35	0. 07
基幹	マイコプラズマ肺 炎	6	3. 00					1	1. 00					7	1. 17	3	0. 50	470	1.00
(6)	クラミシ ア肺炎 (オウム 病は除く)			*	•													4	0.01
	※2 感染性胃腸 炎(ロタウイルス																	6	0. 01
	インフルエンザ (入院患者数)																	*:	3

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

(注)※1は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

※2は、平成25年10月14日以降届出対象疾患。

※3は、2015/2016シーズンの全国の集計は第20週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成28年第31週 平成28年8月1日(月)~平成28年8月7日(日)

インフルエンザ インフルエ インフルエンザ ンザ(鳥れ 定点 フルエンサ を除く)	小児科 RSウィ	了 咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ咽 菌咽 炎	感染性 胃腸炎	手足口 病	伝染性 突発性 紅斑 発しん	百日咳		流行性 耳下腺 炎	眼科·基幹 定点	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	※2 感 染性胃腸 炎(ロタウ イルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)
~5ケ月	~5ケ月	1		1				1		~5ケ月								
~11ケ月	~11ケ月	5		5		4		4		~11ケ月								
1歳	1歳	7	1	14	1	3		39		1歳					1			
2歳	2歳	8	4	11 1				14	1	2歳					1			
3歳	3歳	3	7	13		1		13		3歳								
4歳	4歳	2	4	4			1	4	3	4歳								
5歳	5歳	6	8	6 1		1		1	2	5歳					1			
6歳	6歳	2	5	7		2		2	5	6歳					1			
7歳	7歳		5	3 1		1			1	7歳								
8歳	8歳		4	7		1			1	8歳								
9歳	9歳		1						1	9歳					1			
10~14歳	10~14歳		3	6						10~14歳					1			
15~19歳	15~19歳			1						15~19歳								
20~29歳	20歳以上		2	5						20~29歳								
30~39歳										30~39歳					1			
40~49歳										40~49歳								
50~59歳										50~59歳								
60~69歳										60~69歳								
70~79歳										70歳以上								
80歳以上																		
合 計	合 計	34	44	83 3	1	6 7	1	78	14	合 計					7			
前期計	前期計	1 25	38	77 7	8	3 12	1	103	18	前期計					3			
当期間/前期 ***	当期間/前期	1.36	1.16	1.08 0.43	0.13	2 0.58	1	0.76	0.78	当期間/前期	***	***	***	***	2.33	***	***	***
増減数	増減数 -	1 9	6	6 -4	-7	3 -5		-25	-4	増減数					4			

(注)※1は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

※2は、平成25年10月14日以降届出対象疾患

[患者数:人]

	S T D	「日本語グノミンジア		性器ヘルペス		尖圭コンジ ローマ		淋菌感染症		合計		基幹定	メチシ リン耐 性黄色	ペニシ リン耐 性肺炎	薬剤耐性緑膿	合計
	定点数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	点 数	ブドウ 球菌感 染症	球菌感染症	菌感染症	百副
福井	2	1		5	6	2	1			8	7	2				
坂井	1			1				1		2		0	_			
奥越	0											1				
丹南	1	1						1		2		1				
二州	1		1				1				2	1				<u> </u>
若狭	0											1				
合 計	5	2	1	6	6	2	2	2		12	9	6	15	6		21
前期計	5	1		1	4	1	·	3	·	6	4	6	19	4	1	24
当期間/前期		2	***	6	1.5	2	***	0.67	***	2	2. 25		0.79	1.5		0.88
増減数		1	1	5	2	1	2	-1	·	6	5		-4	2	-1	-3

[定点当たり患者数:人/定点]

	S T D	性器クラミ ジア		性器へ	ルペス	尖圭ニロー		淋菌原	蒸染症	合	計	基幹定	メチシ リン耐 性黄色	ペニシ リン耐 性肺炎	薬剤耐性緑膿	合計
	定点数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	左点 数	ブドウ 球菌感 染症	球菌感染症	樂 樂 樂 樂 報 報 報 報 記 記 記 記 記 記	ПΗ
福井	2	0.50		2.50	3.00	1.00	0.50			4.00	3.50	2				
坂井	1			1.00				1.00		2.00		0	\			
奥越	0											1				
丹南	1	1.00						1.00		2.00		1		`		
二州	1		1.00				1.00				2.00	1				_
若狭	0											1				
合計	5	0.40	0.20	1.20	1.20	0.40	0.40	0.40		2.40	1.80	6	2.50	1.00		3. 50
全国6月	982	1.00	1. 18	0.31	0.51	0.29	0.20	0.52	0.14	2. 12	2.03	475	2.71	0.36	0.03	3. 10

[年齢階層別患者数:人]

[] 国际日/日/37/	一十四門信加心任教・八」															
	S T	性器 <i>ク</i> ジ	フラミ ア	性器ヘルペス		尖圭コンジ ローマ		淋菌原	蒸染症	合	計	基	メチシ リン耐 性黄色	ペニシ リン耐 性肺炎	薬剤耐 性緑膿	合計
	D	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	幹	ブドウ球菌感染症	球菌感染症	菌感染 症	ㅁ띠
0歳													1			1
1歳~4歳														3		3
5歳~9歳																
10歳~14歳																
15歳~19歳																
20歳~24歳			1		1						2					
25歳~29歳							1	1		1	1					
30歳~34歳		1					1			1	1					
35歳~39歳				1		1				2						
40歳~44歳					1						1					
45歳~49歳				2						2						
50歳~54歳		1		1		1		1		4						
55歳~59歳													1			1
60歳~64歳					2						2					
65歳~69歳					2						2		1			1
70歳以上				2						2			12	3		15
合計		2	1	6	6	2	2	2		12	9		15	6		21
前期計		1		1	4	1		3		6	4		19	4	1	24
当期間/前期		2	***	6	1.5	2	***	0.67	***	2	2. 25		0.79	1.5		0.88
増減数		1	1	5	2	1	2	-1		6	5		-4	2	-1	-3

***は前期計が″0″のとき